

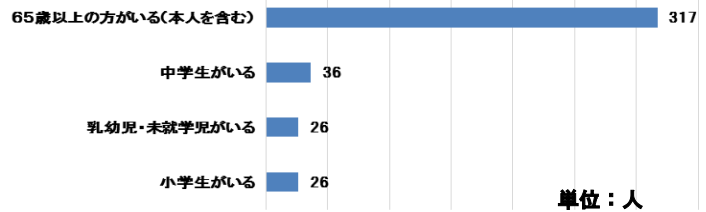
(5) 白老町での暮らしやまちづくりについて

単位：%

問 44 あなた（及びあなたのご家族）は次の項目に該当しますか（複数回答可）。

● 65歳以上の方がいる家族が多い

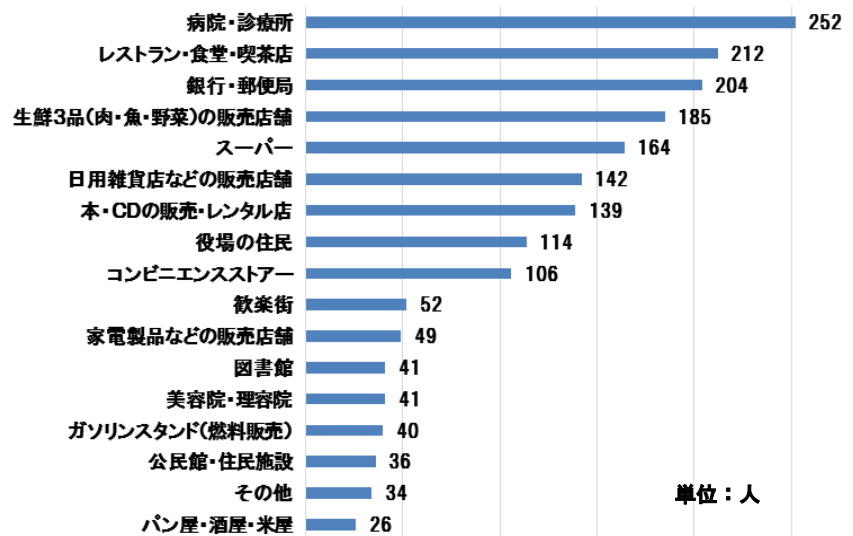
・回答者に高齢者が多かったことから、「65歳以上の方がいる」が圧倒的に多い結果となっています。



問 45 町民の暮らしを支える施設、機能が集中する白老駅周辺の拠点地区には、どのようなものが必要とされますか（5つまで複数回答可）。

● 医療機関、飲食店、金融機関の順に多い

・駅周辺に必要な施設としては、「病院・診療所」「レストラン・食堂・喫茶店」「銀行・郵便局」など「まち・中心街」のイメージに沿った施設への回答が多くを占めました。他方、「本・CD・レンタル店」が上位となるなど娯楽や文化的な充実を求める傾向がうかがえます。

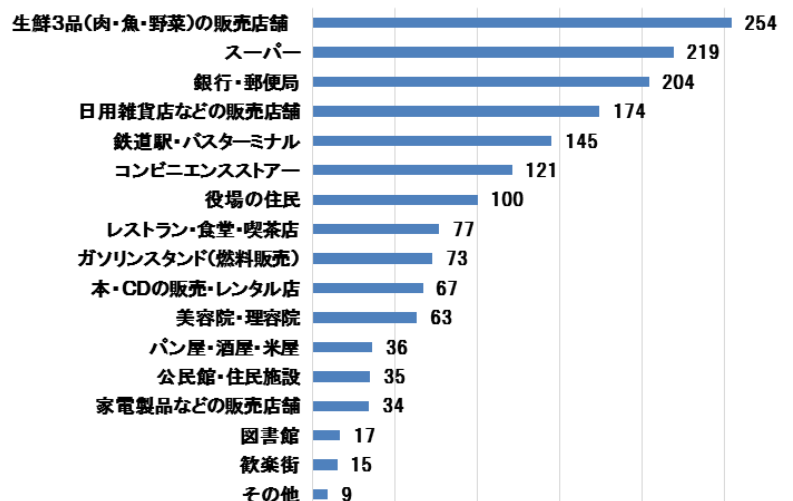


問 46 日常的な生活を支える身近な各地区の拠点には、どのようなものが必要とされますか（5つまで複数回答可）。

● 生鮮品販売店舗、スーパー、金融機関の順に多い

・「生鮮3品（肉・魚・野菜）の販売店舗」「スーパー」「銀行・郵便局」といった生活に直接影響のある施設への回答が多くを占めました。

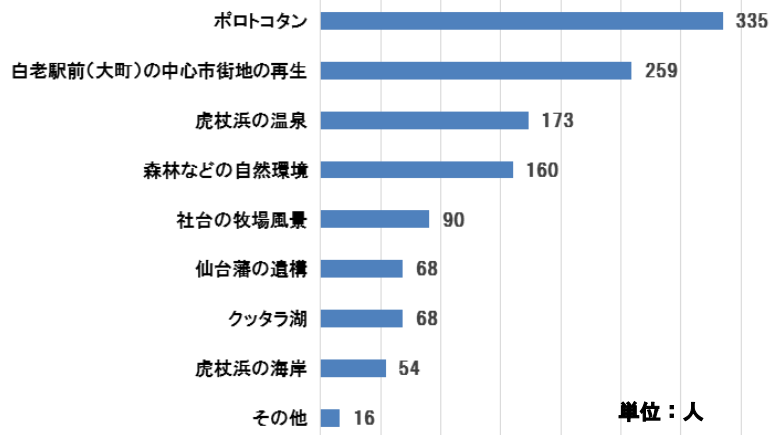
また、鉄道駅・バスターミナルなど「公共交通」へのアクセスを居住地付近に要望する傾向がうかがえます。



問 47 これからも白老町として、大切に（重視）していくべき環境的な事柄にはどのようなものがあると思いますか。重要と思われるもの3つまでに○をつけてください。

- 最も多いのは、ポロトコタン
- 次に、白老駅前中心市街の再生

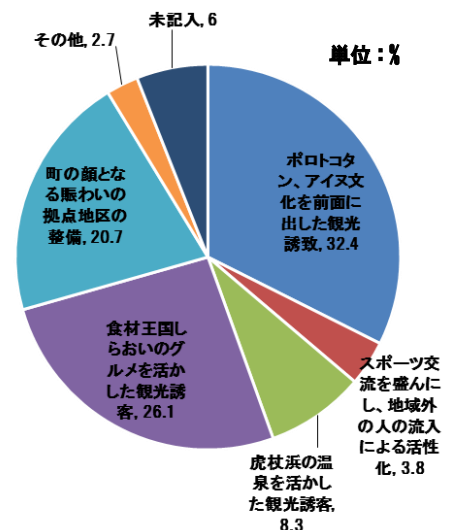
・2020年の民族共生象徴空間開設を控え、「ポロトコタン」「白老駅前（大町）の中心市街地の再生」の二つが上位を占めるとともに、「虎杖浜の温泉」「森林などの自然環境」など本町の普遍的な地域資源への関心の高さがうかがえます。



問 48 まちに賑わいや活力を創出するために、どのような取り組みに重点を置くべきだと思いますか。

- アイヌ文化を前面に出した観光誘客が最も多い
- 「食材王国しらおい」を活かした観光誘客次に続く
- 町の顔となる賑わいの拠点地区の整備も多い

・こちらも2020年の民族共生象徴空間の開設に対する関心の高まりを背景として「ポロトコタン、アイヌ文化を前面に出した観光誘致」への回答が最も多く、次いで「食材王国」「拠点施設の整備」といった観光施策への期待の高さがうかがえます。

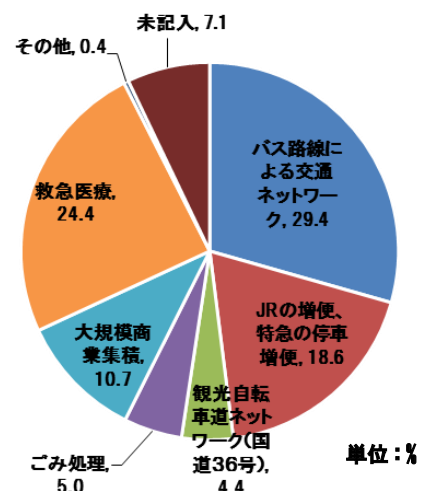


問 49 白老における暮らしを守るため、周辺の地域とどのような広域的な連携が必要だと思いますか。

- バス路線による交通ネットワークが最も多く
- 救急医療が次に続く
- 次いで JR 増便、特急停車の声多い

・「バス路線による交通ネットワーク」(29.4%)、「JRの増便、特急の停車増便」(18.6%)が合わせて48.0%にのぼり、「公共交通」への関心の高さがうかがえます。

また、「救急医療」(24.4%)の必要性も高く、全般として「暮らしの足」と「生命の維持」に関して、広域的な連携によるスケールメリット（費用減少・収益性向上）が求められていることがうかがえます。

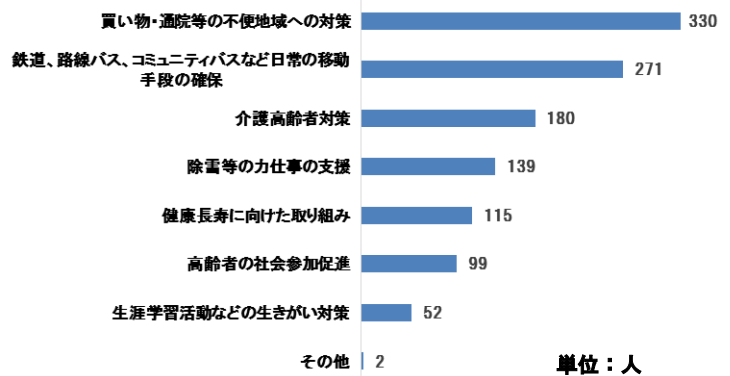


問 50 これからも進む高齢化のなかで暮らしていくためには、どのような環境の整備が必要だと思いますか（3つまで複数回答可）。

- 買い物や通院等の不便地域への対策
 - 鉄道やバスなど日常の交通手段の確保
- など移動困難の解消を望む回答が多い

・高齢化社会の進展に伴い、移動手段の確保に対する不安が増大していることがうかがえます。

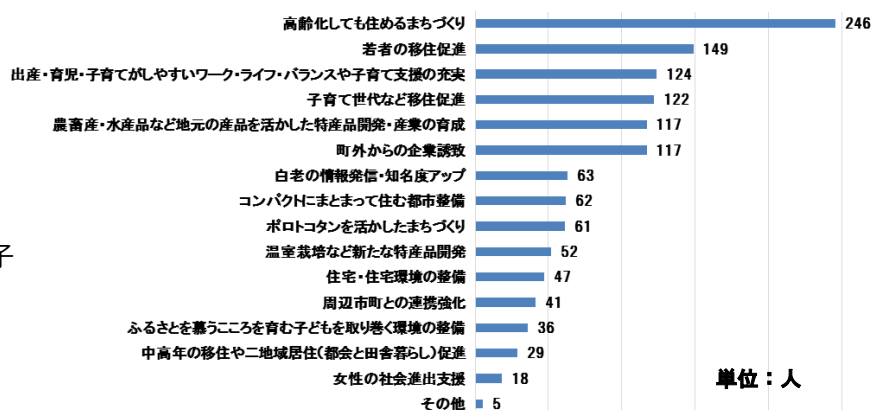
また、「介護高齢者対策」「除雪等の力仕事の支援」への回答も多く、高齢者の独居生活などへの不安が増大していることもうかがえます。



問 51 今後、町として取り組むべき重点施策分野はどのような分野だと思いますか。重要だと思われるもの3つまでに○をつけてください。

- 高齢になっても住めるまちづくりの回答が一番多い

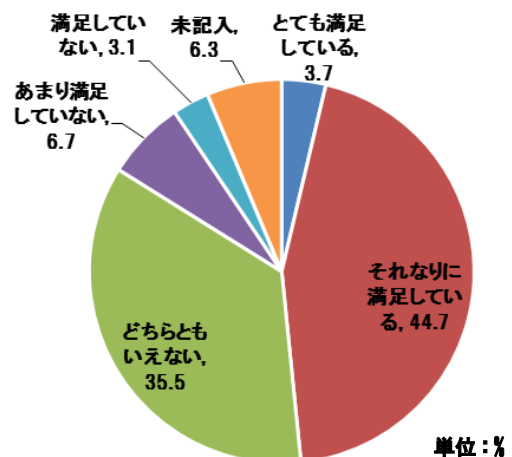
・高齢化の進展により、「高齢化しても住めるまちづくり」を求める回答が多くを占め、一方では、「若者の移住促進」をはじめ、「子育て支援」など未来を担う世代への施策展開について期待が高まっていることがうかがえます。



問 52 あなたは町内会活動に対して満足していますか。

- 「満足している」48.4%

・身近な自治活動である「町内会活動」に対する満足度合いは、約半数（48.4%）が「満足している」と回答していますが、「どちらともいえない」との回答も35.5%にのぼっており、近年の加入率の低下等がその背景にあるものと推察されます。



**問 53 白老町について、ふるさと自慢したいこと、広くPRするべきと思うことなど
(自由意見)**

【食に関すること】

- 肉・卵・タケノコ等、特産品が多いこと
- たらこ・キノコ
- 白老町のたらこ、玉子、牛肉、これだけでも北海道のNO.1です。だから道の駅を！
- 海産物・水産物がおいしい
- 白老牛
- たまご（マザーズ）
- 食の豊かさ
- とり肉・ぶた肉・牛肉・魚介類など、すべての面でトップクラスの物がそろっていると思います。
- 山菜
- 海産物はあまり知られていない（マツカワカレイ、サラガイ等）
- 毛ガニ、生鮮魚・野菜
- 白老町の水は本当においしいと思う。

【自然・動物に関すること】

- 自然、海あり山あり森あり温泉あり
- 初夏から秋にかけて山菜とり、川で鮭が飛びはねる姿が見られ、林に森緑に囲まれこんな素晴らしいところはないと思う。自然を満喫出来るところ。
- 夏にホテル観察が出来る（仙台陣屋、ポロトキャンプ場）
- 山、海、川、湖、森林 これだけ自然に恵まれた町は他に有りません。
- 海と山に囲まれていること。
- 温泉と湖と海と川と森！そして水が美味しいです。
- 地熱
- 白老町の美化を自慢したい。草だらけの町は、見たくない。
- 海も山も綺麗。
- 竹浦・森野周辺の森林公園の空気は素晴らしいと思います。
- 海あり山あり里山あり、ウォーキングが楽しい。
- 浜辺のオーシャンブルー
- 馬
- 牧場

【文化に関すること】

- アイヌ文化
- ポロトコタン
- 国立博物館ができることは白老町にとってすばらしい自慢になると思います。

【ひとに関すること】

- 人がやさしい。役場の方の言葉遣いがいい!!

【温泉に関すること】

- 温泉が身近にあり心穏やかな生活ができること。
- 温泉付き住宅はエコでとても良いです！！
- いつでも温泉に入れる
- 温泉が家庭内で出ること。

【行事・イベントに関すること】

- 白老牛肉祭り、白老港祭り（花火5000発）

【気候に関すること】

- 冬期間の雪が少なく過ごしやすいこと。
- 夏暑すぎず、冬寒すぎない気候。ただし雨量注意。
- 高齢者が多く住む町全道3位と聞きましたが、冬の生活で雪が少ないのが1番という人が多い。
- 夏は涼しく冬は比較的温暖で降雪量少なく老人が生活しやすい
- 風・雪・水害少ない
- 四季を通じ、白老町は（北海道のなかで）冬は暖かく、夏は涼しく住みよい町です。
- 春から秋が長く住みやすいです。

【自治・暮らしに関すること】

- 豊かな町なみ
- 静かでいいところである。
- スローライフを実感できる地区だと思う

【福祉】

- 町内にある授産施設は対応が良く、町外の方から人気だと聞いています。福祉に力を入れている健全者も障がいのある方も暮らしやすい町という一面があると思う。
- 福祉関係（温かさ伝わる町）

【港湾】

- 大型船が入れる港があること。

【交通】

- 交通の便がよい
- 札幌へも通勤圏
- 温泉があり、雪が少なく暮らしやすい。ただし車が運転できる間のみ。

【その他】

- あるべきものはほとんどあって、余計なものがない。「足るを知る」くらしができる。
- 今まで通りで良いと思う。
- 白老の戸田町長がイケメンでかっこイイ！優秀で、白老のために死を覚悟している情熱を感じるころがステキです（なんちゃって）「人権の町 白老」「アイヌ文化から学ぶ、知恵と命の恵」
- 町民の自発的活動が多く見られること。
- 土地が安い

【PRすべきと思うこと】

- 白老町は漁業が発達している事をもっと広めるべき
- 地元食材のPR
- 白老町の特産品のPR
- 自然景観の発掘、歴史（白老町の）遺産のPR
- かに御殿は観光客が多く良いと思う。温泉をもっとアピールしてほしい。
たらこや海鮮、牛、卵などはこれからもアピールしてほしい。
- クッタラ湖やポロト湖、白老川上流の景観など人が来やすい整備をして自然観光をアピール。
- 地元の特産品を町外に向けて町長がトップセールをして花の町白老町を広くPRすべきと思う。

- 滝の多い町のPRを強化すべき
- 温泉のPR、ポロトコタン、アイヌ文化のPR
- ポロト温泉の様に色の濃いモール温泉は道内でも数が少ないので、もっと広くPRしてほしいです。利用する施設もほしい。
- 黒毛和牛を育成してきた歴史
- 民族共生象徴空間
- アイヌ文化を伝承・発展させてきた白老町の産業の歴史
- クッタラ湖の水質はPR不足だと思います。観光化して水質保全できなくなる可能性は否めませんが、それならそれで、看板出すなりあると思いますし、観光化しなくても水販売しながら保全はできると思います。
- 地場産業をもっと広めてほしい
- 漁業・畜産及び特産品の知名度アップのための情報を発信する。

<期待・改善>

- 交通マナーを守ってほしい。
- 2020年白老ポロト湖畔に国立アイヌ民族博物館、共生公園などができ、世界的にも広がりが見える気が。来町者も外国人が多くなる事を踏まえ、大変な事でしょうが、アイヌ文化の創造発展の為、頑張ってください。
- アイヌ国立博物館ができる。白老と国際関係が多くなるように白老に期待します。
- 白老には多くの特産品（タラコ、しいたけ、牛肉）等々あります、もし道の駅ができれば全道はもとより多くの知るところとなるでしょう。
- PRできる自慢がなさすぎ。
- 現時点ではPRすることはありません。
- 地元の特産品を住民は安く手に入れることができたらいい。
- ポロト湖の水源の一つでもあるポロト奥の樽前山系の伏流水が湧き出ている所を、京極町のふき出し公園の様に利用できないか。
- JR白老駅を直し、特急の停車を（日中部分的に）
- ネコ、シカ、カラスを少なくする。エサやりをやめさせる。
- 白老牛や虎杖浜たらこだけではなく、もっと幅広い食材のアピールと食品開発
- しいて言えば温泉だけ。
- 広大な土地を利用した企業誘致やリゾート地の開発
- もう少し交通の便が良ければ住みよいと思います。
- ヘソのある町にすべき
- 白老港における観光客船の入港促進
- 温泉を生かした産業はないものなのでしょうか。

<思い・想い>

- 転勤者がこれだけ多いのに、交流を深め、去る時には惜しまれる---そんな町です白老は。人懐っこく、町外からの人を受け入れてくれます。転出したけど時折、白老に顔を出してくれる人がたくさんいます。転入してきた知人が「店の数より知人の数」と言っていました。狭い地域だけに人づきあい、結びつきは濃厚です。コレをどのように町の活性化に結びつけるか難しい所ですが、「住むからには、損はさせない白老は」と言ったところでしょうか。
- 個人個人は、それぞれに生き方を変えることなく暮らしていると思う。行政がその中に入って行くことは無理だと感じる。一番基本の町内会そして班活動、隣近所の方々との交流それから発展するものだと感じる。しっかりとした町を作る---と思う。大きなことを立派な言葉で並べ立てることより、小さな単位でコツコツとやるのが、大きなところにつながっていく---と感じています。
- 景色、撮影出来る美しい自然があります。どうぞいらしてみませんかのお誘いでおいしい食材もありますのでどうぞ食して下さい。とか行ってみたいという気持ちにさせる、来て見て欲しいと発信する。

例えばドラマの風景に適している。コスプレの風景の紹介など。

●移住して 16 年になります。食も豊富で、自然豊かなこの町は素晴らしいと思っています。ただ働く場所が少なく、子どもも他市へ行ってしまいました。

●温泉に入り、土いじりをし、美味しい食材を料理する。この日常を東京住人や、海外から来る友人に見せる。生活そのものを見せるだけで、満足してもらえる。きれいな海や山に連れて行くだけで感激してもらえる。白老はそんな所が素晴らしいのだと。この 2・3 年、北京・上海・東京から来た、友人・知人・家族の接待は、虎杖浜で一緒にニジマスを釣り、フライ・刺身・寿司を作り、温泉に入る。自宅をあけて 2～3 泊してもらおう。白老牛のバーベキューを自宅庭で（家庭菜園の野菜とともに）する。ポロトを自転車であぐる。カヤックにも挑戦する。